

関西大学社会安全学部客員教授講演会

船舶事故調査史とヒューマンファクター・組織論・安全文化

2008年のわが国での運輸安全委員会の設立は、世界史的に見ると船舶事故調査制度をめぐる第二のエポックの一コマであった。第一のエポックは、19世紀中頃から20世紀にかけて船舶事故調査が欧米各国で相次いで導入された時期である。発祥の地であるイギリスにおいては、当時から事故の再発防止を主目的にした制度だったが、わが国は、明治時代に導入した海員懲戒法の構造が戦後の海難審判法にも引き継がれ、懲戒手続きの併存が、主目的である海難の再発防止のための原因探究をゆがめてきた。講義の中では、コンプライアンスの文脈も踏まえ、近年のヒューマンファクター研究・組織論の展開と事故調査の関係、運輸安全に関する安全文化の構築についても言及する。

日 時

2025年11月18日 (火)
16:20～17:50

場 所

関西大学 高槻ミューズキャンパス
西館 7 階 M706

申込不要
入場無料



おすすめ ひでお

講師 **大須賀 英郎 氏**

■プロフィール

東京大学卒。ロンドン大学修士。
関西大学博士（学術）
1978年運輸省入省、2013年退官。
海上保安庁、高等海難審判庁、運輸安全委員会等において主要ポストを歴任。
現在、公益財団法人日本海事センター参与。
国際油濁補償基金監査委員会副委員長。
瑞宝中綬章受章。

■事務局 関西大学社会安全学部 https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/
〒569-1098 高槻市白梅町7番1号 TEL 072-684-4000

車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。キャンパス内は、一部を除き全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。